

「第五期武蔵野市環境基本計画」中間まとめ案

市民意見交換会の結果について

1 市民意見交換会実施概要

- (1) 実施形態 オンラインで実施（第13回むさしの環境フェスタ HP 内の投稿フォームで意見を投稿）
- (2) 実施期間 令和2（2020）年11月5日（木曜日）～11月12日（木曜日）
- (3) 参加者数 6名
- (4) 意見件数 10件

2 市民からのご意見と対応等

※1-1～1-3は同一の方との連続した意見交換です。

※頁数は中間まとめ案時点のものです。

No.	ご意見	市の回答
1-1	<p>1. 計画の期間を10年としたのはなぜか？個人的には適当と思う。</p> <p>2. 「コロナは再エネに強い」旨があるが、出典は？</p> <p>3. 基本理念は誰がどのように決定したか？分野を有機的につなげることに言及しているのがよい。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。</p> <p>1. 環境問題は将来を長期的に見据える必要があるため、計画期間を10年間としました。</p> <p>2. 新聞の報道、および国の総合資源エネルギー調査会資料によります。</p> <p>3. 基本理念は、庁内会議と環境市民会議で議論してまいりました。</p>
1-2	<p>3. について、言い忘れたが、スマートシティの語句を外す旨もいいと思う。そもそもなぜ前回の計画でスマートシティという「不鮮明」な言葉を使ったのかよくわからないが。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>第四期環境基本計画において、「スマートシティ」とは環境に係る様々な情報や価値観等をネットワーク化することを通じてつくるまちの姿の意味で使用していましたが、現在「スマートシティ」は一般的にIoTの先端技術を用いてインフラ等を効率的に運営・管理する都市を表す用語として</p>

		使われることが多くなってきています。市の環境基本計画の基本理念を正確に表現するため、武蔵野市第六期長期計画にもある「環境都市」という言葉を選びました。
1-3	スマートシティは個人的感覚としては以前から ICT 関連の用語だったように思う。とにかくスマートシティの推進は是とするが、スマートシティを環境セクションが所管する余地は一切なく、情報セクションが所管する以外にありえないと思う。	ご意見ありがとうございます。 スマートシティ及び ICT に関しては、言葉の意味を的確に捉えながら、関係する部局で推進してまいります。
2	地球温暖化で生物の棲み処が変わり、感染症を媒介することもある。コロナも関係している可能性がある。コロナはコキクガシラコウモリから人に感染したという説もある。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘の通り、地球温暖化による気候変動の影響で、亜熱帯の地域の生きものが日本に棲みつくようになり、その生きものが新しい感染症を媒介する可能性があります。本計画も新型コロナウイルスに限らず、気候変動と感染症の関係には注目しているところです。関連する箇所としては、気候変動の適応策については 23 頁、人と生きものの共生については 40 頁に記載しています。
3	武蔵野市のよいところは緑だと思う。これからも緑あふれるまちづくりをお願いしたい。私としては、個人宅の生垣等の緑を増やす指導を強化してほしい。また、エコ re ゾートの開館もうれしく思っており、少し遠いが、活用する。	ご意見ありがとうございます。 本計画の環境方針 3 で、緑や水など自然環境への取り組みについて記載しています。なお、個別計画である「武蔵野市緑の基本計画」にも緑化の推進が明記されています。 また、環境問題についてひとりひ

		とりが問題意識を持ち、楽しく学べる場として「むさしのエコ re ゴート」での事業充実を図ってまいります。
4	具体的に政策のスケジュールや費用を明示しなければ計画とは言えない。	ご意見ありがとうございます。 環境基本計画は市の行う環境施策の大きな方向性を示すマスタープランですので、スケジュールや費用など具体的な表記は馴染まないと考えています。
5	黄砂が気になっている。黄砂は一時期に比べると落ち着いてきた印象だが、春になると車が汚れる。ただし、これは黄砂ではなく花粉であるという話もある。また昔より黄色が濃くなっているような気もする。いずれにせよ最近は一時期に比べて空気がきれいに感じる。	ご意見ありがとうございます。 市ではSPM（浮遊粒子状物質）の常時監視などの大気汚染へ適切に対応しています。根拠法令及び第五期武蔵野市環境基本計画の環境方針4や5を拠所に、引き続き大気汚染への適正な対応を継続してまいります。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋が高すぎる。23区は無料である。色と丈夫さはよい。 ・ペットボトルの回収が2週間に1回は少なすぎる。まちなかにペットボトルゴミがあふれるのではないか。マイボトルを推奨されても、簡単なことではない。 ・ビン、缶も同様に回収頻度が少ない。家の中に空き缶ビールの山ができ、ゴキブリが繁殖している。 ・ごみ収集車はかわいい。 	ご意見ありがとうございます。 家庭ごみなどについては、市の個別計画である一般廃棄物処理基本計画に基づき施策を進めています。第五期武蔵野市環境基本計画では、環境方針2にてごみ減量を軸とした循環型社会の実現に向けた方向性を提示しています。